

施設概要

(令和2年4月1日現在)

施設名 白井コミュニティセンター		開館時間 午前9時～午後9時		
所在地	〒270-1422 白井市復1458-1	併設施設	白井児童館	
TEL	047-491-1505	FAX	047-491-1503	
メール	mail@shiroi-com10.com			
休館日	火曜日・祝日 12月29日～翌年1月3日	駐車場	敷地内17台(内、身障者1台) 第2駐車場30台程度	
職員構成 30年4月現在	センター長1名 事務職1名 (非)事務職3名 児童厚生員1名 (非)児童厚生員4名 (非)夜間管理2名 (非)学習支援者1名 (非)清掃員1名 合計14名			
貸出施設	1時間あたりの施設使用料(社会教育認定団体は2分の1)			
	施設名	定員	9:00~21:00 付帯設備	
	和室1	18名	250円	座卓・座布団
	和室2			
	調理室	24名	720円	テーブル4台・椅子24脚・ 調理用具一式・ホワイトボード
	会議室1	30名	350円	机・椅子・音響設備・ホワイトボード・ 可動式ホワイトボード・ 可動式スクリーン(会議室2)・ 可動式演台
	会議室2	50名		
	工芸室	12名	350円	机3台・椅子18脚・ホワイトボード
多目的ホール	200名	970円	卓球台4台・音響設備・可動式舞台6台 ・バドミントン用支柱・得点板・ 卓球用ネット・バドミントン用ネット・ 可動式ホワイトボード	
陶芸窯使用料				
陶芸窯	1回の使用につき 3,790円		棚板・支柱	
貸し出し 可能備品	館内設置：2色刷印刷機・アートスペース1階・2階 館内限定：TV・プロジェクター・DVDブルーレイプレイヤー・延長コード CDラジカセ・プロジェクターワゴン・陶芸用具一式・可動式ホワイトボード			

平成31年度 公民館等団体別利用状況 (白井コミュニティセンター)

種別	青少年		成人		女性		高齢者		その他		個人		合計	
	月	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数
4	12	274	99	1,042	3	26	2	12	45	4,029	19	250	180	5,633
5	10	280	89	845	5	43	2	14	23	260	9	79	138	1,521
6	18	536	111	990	5	29	1	6	42	567	13	149	190	2,277
7	14	844	110	1,058	3	34	1	2	55	1,800	18	61	201	3,799
8	7	84	85	746	3	19	1	4	39	2,653	14	64	149	3,570
9	13	360	93	965	6	79	1	2	33	420	7	29	153	1,855
10	10	259	99	964	3	26	0	0	42	269	19	92	173	1,610
11	14	477	115	932	3	30	2	5	41	1,208	3	9	178	2,661
12	17	562	87	761	3	26	2	7	29	412	12	204	150	1,972
1	17	452	84	801	3	26	3	38	31	520	5	52	143	1,889
2	19	401	85	767	2	21	1	4	31	370	3	33	141	1,596
3	19	146	57	472	1	30	2	17	19	201	51	316	149	1,182
合計	170	4,675	1,114	10,343	40	389	18	111	430	12,709	173	1,338	1,945	29,565

平成31年度部屋別利用件数・利用人数

部屋名	利用件数(件)	利用人数(人)	年間利用率(%)
会議室1・2	120	4,353	15.1
会議室1	208	1,830	21.8
会議室2	201	2,024	18.3
和室1・2	167	1,747	13.5
和室1	124	669	9.2
和室2	16	78	1.3
調理室	128	1,842	15.1
工芸室	200	1,938	24.2
多目的ホール	781	15,084	49.5
合計	1,945	29,565	

平成31年度 白井コミュニティセンター 事業報告

●白井市が目指す将来像（第5次総合計画基本構想から）

「ときめきと みどりあふれる 快活都市」

●目指す将来像を実現するために（第5次総合計画前期基本計画から抜粋）

戦略1 「若い世代定住プロジェクト」

- ・ゆとりある暮らしを支えるまちづくり
- ・子育てしたくなるまちづくり

戦略2 「みどり活用プロジェクト」

- ・みどりが価値を生み出すまちづくり
- ・みどりがつながるまちづくり

戦略3 「拠点創造プロジェクト」

- ・地域拠点がにぎわうまちづくり
- ・拠点がつながるまちづくり

これらのプロジェクト（まちづくり）を実現するため、①「つどう」②「まなぶ」③「むすぶ」④「つくる」⑤「さがす」の公民館の代表的な5つの機能を生かした事業展開を行いました。

1. 運営方針

平成31年度 白井コミュニティセンター 運営方針

（1）全体の運営方針

テーマ：step3～地域と生きる

利用者の平等な利用とサービス向上に努め、効率的な管理運営を行う。

併せて地域の拠点として、市民と行政と団体とのコーディネーターの役割を担い、「わがまち白井」を合い言葉とし、まちづくりに参加・協働する。

課題に対しては、アンケートや利用団体連絡協議会等で話を伺いながら、センター内で検討し、少しでも参加者を増やすよう努めます。

(2) 分野別方針

市民の連帯意識の向上 (1)	①地域の拠点として市民交流や世代間交流を推進する ②市民や自治会等コミュニティセンターじぎょうへ施設提供を図る ③利用団体の発表の場を推進する ④地域文化を知り、地域に愛着を持てる意識づくり
地域コミュニティの活性化 (2)	①市民の地域活動育成を推進する ②拠点として地域住民の利用を推進する ③地域文化・食文化を推進する ④市民団体や市と連絡調整しコミュニティを図る
趣味や生きがいづくりの向上 (3)	①陶芸窯・アートスペースの利用を促進する ②各種スポーツを推進する ③趣味や生きがいづくりを推進する ④心豊かで、穏やかな生活を送るきっかけを作る

(3) 平成31年度 重点に実施した項目(講座・事業など)

地域交流・世代間交流文化交流に力を入れ、日常生活を豊かにする

2. 講座等実施報告

(1) 学習講座事業

対象	学級・講座名		回数	参加人数
市民の意識の向上を図る事業 (1)	「今井の桜保全プロジェクト」	①④	3回	103人
	ふらっと市内散策	①④	1回	4人
	コミセンフェスタ実行委員会	①②③④	2回	28人
	コミセンフェスタ(児童館共催)	①②③④	中止	
地域コミュニティ活性化を図る事業 (2)	ティーサロン(地区社協共催)	②④	11回	442人
	利用団体連絡会	①②	2回	18人
	脳を鍛えよう!! 「大人の脳トレ」①②③	①②	3回	7人
	第4回ワーキング・キッズ・アドベンチャー(児童館共催)	①④	1回	388人
	割烹の親方に学ぶ「料理講座」	①	1回	11人
	第7回街コン ～素敵なお出逢いを～	③④	1回	37人
趣味や生きがいづくりの向上 (3)	トールペイント講座	③④	2回	21人
	新緑の公園散策と写真撮影会 (全2回)	①④	2回	1人
	☆やりたいことを見つけよう☆ 初めての川柳(全2回)	③④	2回	4人
	はじめての「ベジブーケ」	③④	1回	10人
	夜の座禅体験 in 佛法寺	③④	1回	17人
	野山のつるでカゴを編もう!	③④	1回	13人

(2) 情報の提供

- ・コミュニティセンターで実施する事業の情報提供
(広報しろい・ホームページ・ブログ・フェイスブック・インスタグラム・コミセン通信・市内公共施設にポスター掲示・チラシ配布)
- ・コミセン通信を白井第一小学校、白井中学校、白井保育園、ひまわり保育園から各家庭に配布
- ・コミセン通信を近隣住宅配布、白井・下長殿自治会の会員数を各班長に配布、近隣商店に設置

(3) 施設の提供

- ・利用者に平等・公平な施設の利用促進、貸館業務の充実
- ・地域のコミュニティの核となる場所の提供

(4) その他 後援事業

- ・春のそろばん祭り (4月)
- ・夏のそろばん祭り (8月)

(5) 行事名の変更

- ・ふらっとしない歴史散策⇒ふらっと市内散策
- ・脳を鍛える大人のトレーニング⇒脳を鍛えよう!!「大人の脳トレ」①②③
- ・親方の料理講座⇒割烹の親方に学ぶ「料理講座」
- ・第7回オミパ de 白井⇒第7回街コン～素敵な出逢いを～
- ・デジカメ講座⇒新緑の公園散策と写真撮影会 (全2回)
- ・座禅のすすめ⇒夜の座禅体験 in 佛法寺
- ・DIY 挑戦木工講座⇒野山のつるでカゴを編もう!

事業活動

事業名	今井の桜保全プロジェクト		
対象	市内在住通勤者一般		
参加人数	103人		
事業の課題と目標	<ul style="list-style-type: none"> ・「今井の桜」という市内桜の名所にもかわらず、老朽化・樹木の病気が進み元気な木が少なくなっていること。 ・集中豪雨などで名内川が氾濫することはあまり知られていない。 ・学区外の児童生徒や若い世代に知られていない。 		
目標	<ul style="list-style-type: none"> ・今井の桜の現状を広く市民や近隣の人に把握してもらうこと。 ・原風景を後世に残すことを考えるきっかけ作り。 		
期	平成31年4月～令和2年3月	回数	3回
場所	市内全域・今井の桜並木（名内川・金山落し）		
事業参加者等への配慮等	<ul style="list-style-type: none"> ・環境課、美しい手賀沼を愛する市民の連合会と何度か打合せをし、今井の桜、手賀沼船上見学が記憶に残るよう話し合いました。 ・川（金山落し）に落ちないように注意を促し、親と一緒に心を配った。 ・安全のため市役所からバス2台で移動、バス1台を安価で頼んだ。 		
事業の成果（課題や目標に対して）	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な生き物が生息していることや、今年は外来水生植物（ナガエツルノゲイトウ）の群落繁殖力が強く駆除に苦労したことなど知り、環境保全の大切さを感じることでできた。 ・親子で環境保全について考えるきっかけ作りができた。 ・「今井の桜」が美しいだけでなく、ゴミの放置や川の氾濫という問題があることを知ってもらうことができた。 		
備考			

事業報告

No	月 日	事業内容・方法等	事業のねらい
1	4月1日～ 5月30日	平成時代の「桜」写真集を作ろう～あなたの写真をお貸しください～と募集をした。 募集4月1日から5月31日 展示6月1日から6月30日 参加人数20人 自己負担金0円	白井の自然で桜の名所を大事にし、後世に残すことを考えるきっかけとする。地域への愛着心を育むこと。
2	9月28日	金山落し（今井の桜並木）生き物観察 参加者で「たも網」を川に仕掛ける。次に網で水路にいる生き物を探す。仕掛けを外し捕れた生き物別に分けする。講師から生き物について説明を受ける。 参加人数39人 自己負担金0円	金山落しにどんな生き物がいるか知られていない。生き物を通して関心を持ってもらい、今井の桜並木の保全が急務であることを知ってもらうこと。
3	12月8日	～手賀沼統一グリーンデイズ～ 河川のごみ拾いと外来水生植物（ナガエツルノゲイトウ）を川へ入り駆除し、環境保全を体現する。終了後、豚汁やばらっぱ饅頭を食す。 参加人数44人 自己負担金0円	参加者に手賀沼水質浄化を啓発するとともに、今井の桜並木の保全活動を広めること。

事業報告

No	月 日	事業内容・方法等	事業のねらい
1	6月1日	<p>しろい散策マップの「さくらコース」をしろいふるさとガイドの会の案内で散策する。</p> <p>当日の案内資料はガイドの会が作成してくれた。</p> <p>参加人数 4人 自己負担金 0円</p>	<p>趣味や生きがいづくりの向上、健康増進を図る。</p>

事業活動

事業名	ふらっと市内散策		
対象	市内在住在勤者一般		
参加人数	4人		
事業の課題と目標	<ul style="list-style-type: none"> ・住民の方でも市内をよく知らない。 ・市内・今井地区の歴史を知っていただき、講師の話を聞きながら楽しく散策してもらおう。 ・健康増進に役立てる。 		
期 間	令和元年6月1日	回数	1回
場 所	さくらコース<名内・今井地区>		
事業参加者等への配慮等	<ul style="list-style-type: none"> ・散策中は車に気を付ける。 ・参加者の体調管理、けがにも注意する。 		
事業の成果（課題や目標に対して）	<ul style="list-style-type: none"> ・4.5^時・9,000歩を歩いた。天気は晴れ、ちよいど良い風が吹いていた。参加者はコミセンでは集める事が出来なかったが、ガイドの会の方の声掛けで4名集まった。ガイドの会から色々な事を教えてもらい名内・今井の風景や町並みを散策した。皆さん質問したり、興味深そうだった。とても良い講座なので、また行いたい。 		
備 考			

事業活動

事業名	コミセンフエスタ実行委員会		
対象	フエステイバル実行委員		
参加人数	28人		
事業の課題と目標 課題	<ul style="list-style-type: none"> 参加人数を増やすには何が必要か。 昨年のアンケートについて話し合うこと。 		
目標	<ul style="list-style-type: none"> フエステイバルを安全に来館者に楽しんでもらうこと。 		
期 間	令和2年1月11日・2月15日	回数	2回
場 所	コミセン会議室		
事業参加者等への配慮等	<ul style="list-style-type: none"> 参加団体同士話し合い、譲り合う気持ちを持ち、協力して開催できるようにした。 発表者には気持ちよく発表できるように段取りを確認し準備した。 けがや事故が無いよう、全員が注意した。 参加者が主体的に活動できるように配慮した。 		
事業の成果（課題や目標に対して）	<ul style="list-style-type: none"> 利用団体連絡会、実行委員会で話し合い、よりよいセンター運営ができた。 準備や当日のお手伝いなどは、実行委員で割振り、当日お手伝いだけ参加する団体もいて、みんなで協力して開催する準備ができた。 		
備 考			

事業報告

No	月 日	事業内容・方法等	事業のねらい
1	1月11日	<p>第1回実行委員会 各団体自己紹介、実行委員長・副委員長選出、各種確認事項（タイムスケジュール、各ブース場所調整確認、貸出備品、担当作業の調整、団体紹介文等）</p> <p>参加人数 11団体 13人</p>	<p>利用団体の成果発表とす る。 団体同士や地域住民との交 流の場とする。</p>
2	2月15日	<p>第2回実行委員会 更衣室の注意事項。 各種確認事項（タイムスケジュール、更衣室、各ブース場所、貸出備品、担当作業、搬入搬出、駐車場、参加団体アンケート）</p> <p>参加人数 14団体 15人</p>	

事業活動

事業名	ティーサロン（地区社協共催）		
対象	市内在住在勤者一般		
参加人数	442人		
事業の課題と目標 課題	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者のふれあいと憩いの場が少ない。 		
目標	<ul style="list-style-type: none"> だれでも自由に参加し、おしゃべりしながらお茶を楽しむ。 居場所づくり。 		
期間	平成31年4月～令和2年2月	回数	11回
場所	調理室		
事業参加者等への配慮等	<ul style="list-style-type: none"> 楽しく和やかな雰囲気作りを心がける。 明るい声で挨拶する。 だれでも利用できることの周知をする。 		
事業の成果（課題や目標に対して）	<ul style="list-style-type: none"> 長年続けて来て、地域の方にも認知されてきた。当日になると地域の高齢者の方が待ち合わせて来るようになった。 当日利用されているお客様にも声をかけたりして、誰もが自由に参加でき、おしゃべりが楽しめる地域が育まれた。 		
備考	<ul style="list-style-type: none"> 白井第一小学校地区社協と共催のサロンになります。 		

事業活動

事業名	利用団体連絡会		
対象	コミュニティセンター利用団体		
参加人数	14団体18人		
事業の課題と目標 課題	<ul style="list-style-type: none"> 利用団体が知り合う機会が少ない。 コミセンの年間事業を知ってもらう機会が少ない。 利用者からの要望を共有する機会が少ない。 		
目標	<ul style="list-style-type: none"> 利用団体の要望を共有して、伺うことが出来る。 施設をきれいに長く利用してもらう。 システム抽選等については、公正に行われていることを伝える場とする。 		
期間	令和元年5月19日・10月25日	回数	2回
場所	コミセン会議室		
事業参加者等への配慮等	<ul style="list-style-type: none"> 意見が出やすい雰囲気作り。 会の趣旨や目的を伝えて、理解して頂き進めている。 		
事業の成果（課題や目標に対して）	<ul style="list-style-type: none"> 参加者で話し合い、協力し合うことで、センターを拠点として地域の振興が図れた。 連絡会が開催されることで、フェスタ実行委員会も皆さんに協力しながら進められる。 		
備考			

事業報告

No	月 日	事業内容・方法等	事業のねらい
1	5月19日	第1回利用団体連絡会（総会） ①平成30年度事業報告 ②平成31年度事業計画（案） ③その他連絡事項 会員17団体 委任状7団体 参加人数 8人	施設の大事に有効利用して もらうこと。 生涯学習や趣味に利用して もらい、健康増進に繋げる こと。
2	10月25日	第2回利用団体連絡会 ①平成31年度事業開催報告 ②平成31年度これからの自主事 業について ③平成31年度コミセンフェスタ 開催について ④その他連絡事項 会員17団体 委任状7団体 参加人数 6人	

事業活動

事業名	脳を鍛えよう!!「大人の脳トレ」①②③		
対 象	市内在住在勤者一般		
参加人数	7人		
事業の課題と目標	課題 ・普段の生活では使わない物を使って、脳を活性化させる。 目標 ・脳と体を一緒に動かす。この講座で習ったことを日常生活に取り入れて頂き、認知症予防に繋がってほしい。		
期 間	令和元年6月28日・7月5日・12日	回数	3回
場 所	①② 会議室1・2 / ③ 和室1・2		
事業参加者等への配慮等	①② 今までに使った事のないそろばんなので、解らない事がないよう1人1人に声をかけて回った。 ③ 脳トレでヨガなので、講師と相談し考えるヨガ・知るヨガを行った。		
事業の成果（課題や目標に対して）	① 理解度に個人差があった。補助に入ったが最後まで理解できずに帰られた方がいた。 ② 参加者は1名だったが、講師と1対1で納得いくまで教わっていた。ゲームは職員も参加して行った。 ③ 講師は指示のみで、参加者は考えて体を動かす。体の仕組みからポーズの意味までを聞き、理解し、ヨガを習いました。3回の講座、皆さん楽しんでいました。		
備 考			

事業報告

No	月 日	事業内容・方法等	事業のねらい
1	6月28日 7月5日 7月12日	① 「昔のそろばんを使って計算してみよう」 ② 「そろばんの玉を使って遊びましょう」 ③ 「脳トレヨガで心も体もリフレッシュ！」 参加人数 ①4人②1人③2人 自己負担金 0円	普段の生活では使わない物を使って、脳を活性化させる。 脳と体を一緒に動かす。この講座で習ったことを日常生活に取り入れて頂き、認知症予防に繋がってほしい。

事業活動

事業名	第4回ワーキング・キッズ・アドベンチャー		
対 象	市内、市外小学生		
参加人数	388人		
事業の課題と目標	<p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> 市内の企業（工業団地・生活圏以外）が住んでいる人に知られていない。 就職先が市外・首都圏に向いている。 <p>目標</p> <ul style="list-style-type: none"> 子供達に楽しみながら社会の「仕組み」や「職業」を知ってもらうこと。 子供達の好奇心、自立心をかきたてる現実的な地域（地元）づくり、体験づくり（未来を担う人）の為に地元企業が協力して、未来を創る機会。 		
期 間	令和元年7月27日	回数	1回
場 所	コミュニティセンター		
事業参加者等への配慮等	<ul style="list-style-type: none"> けがや事故等起らないよう、全員で気を配った。 準備、片づけ等がスムーズに進むように手配を怠らなかつた。 来館した子供たちが全員体験できるように実行委員会で話し合った。 		
事業の成果（課題や目標に対して）	<ul style="list-style-type: none"> 地域（企業）・学校（白井高校）・行政（産業振興課）・センターとの連携、交流が進みました。 子供たちもいろいろな会社がある、近くに存在することを、改めて確認した模様。社会の仕組みの一端を感じ取ってもらえた。 子供がよりリアルな職業を体験することで、勉強をする意味を知り、学習意欲を育てることの一助になった。 小学生を対象にしたので保護者にも知ってもらえた。 		
備 考			

事業報告

No	月 日	事業内容・方法等	事業のねらい
1	7月27日	<p>仕事の体験においては、</p> <p>①職業の内容を伝える どのような仕事なのか、1日の仕事の流れなど</p> <p>②仕事の「やりがい」「大切にしていること」を伝えてから体験に入るようにした。</p> <p>体験だけで終わらないように、また将来に役立てるように参加団体が各自で考えた。</p> <p>参加人数 388人 自己負担金 100円</p>	<p>子どもたちに楽しみながら社会の「仕組み」や「職業」を知ってもらうこと。</p>

事業活動

事業名	割烹の親方に学ぶ「料理講座」		
対 象	市内在住在勤者一般		
参加人数	11人		
事業の課題と目標	<p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ちよっととしたコツで本格的な味に仕上がるプロの技を学ぶ機会がない。 <p>目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プロからちよっとしたコツを教えてもらい、実践すること。 ・料理を通して、地域や世代間の交流を深める。 		
期 間	令和元年12月7日	回数	1回
場 所	調理室		
事業参加者等への配慮等	<p>・3つの班に分かれて実習を行ったので、それぞれの班の作業に遅れがでていないかやわからない所は無いかなど確認して廻った。</p> <p>事業の成果（課題や目標に対して）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講座募集開始日から申込みが多数あり、すぐ募集終了となったが、キャンセルが1件あった。 ・アンケート集計の中で「大変良い」の回答が多く、次回もあればやりたいという声もあった。 ・ちよっとしたコツで家庭では味わえない料理が作れたとコメントもあった。また家庭でも作りたいという声も多く寄せられ良かったと思う。 		
備 考			

事業報告

No	月 日	事業内容・方法等	事業のねらい
1	12月7日	<p>食材・調味料は前日までに用意。 当日のアシスタントは高城久美子さん。講師（和食いし津店主）自ら手順のポイントや応用の仕方、注意点などを説明。 その後、参加者は各班で料理を始める。出来上がった弁当を皆一緒に食べる。片付けまで行う。</p> <p>参加人数 11人 自己負担金 1,000円</p>	<p>ちよっとしたコツで本格的な味に仕上がるプロの技を学びながら「松花堂弁当」を作る。 作業を通して、地域や世代間の交流を深める。</p>

事業活動

事業名	第7回街コン～素敵なお出逢いを～		
対象	20歳以上 独身男女		
参加人数	37人		
事業の課題と目標	<p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学生の間は白井市に住んでいるが、就職・結婚は市外に出てしまう若者が多い。 ・市内に住んで市内で働いている人は、異性と知り合うきっかけが少ない。 <p>目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出逢いを創出することで独身者に希望を持ってもらう。 ・地域活性化をテーマに婚活支援事業として行う。 ・地域のお店を知り、活性化すること。 		
期 間	令和元年11月16日	回数	2回
場 所	「LE BLANC」		
事業参加者等への配慮等	<ul style="list-style-type: none"> ・皆さんが楽しく過ごせる様に、また会話のできない人には声かけをしながら行った。 ・話しながら、口に入られるような食べ物の大きさにするなど、打合せを丹念にした。 ・男性と女性が、全員と話が出来るように時間配分を考え、細部に至るまで確認し、運営した。 ・女性参加者が少なかったがステキな時間になるよう頻繁に声かけや参加者の声を聞きながら進行了った。 		
事業の成果（課題や目標に対して）	<ul style="list-style-type: none"> ・頻繁に声掛けや参加者の声を聞きながら進行了った。今回午前5組、午後6組、計11組のカップルが成立。次回開催があれば、内容を魅力に溢れるものにしていきたい。 ・出逢いを通じて、地域の活性化に繋がることを期待したい。 		
備 考			

事業報告

No	月 日	事業内容・方法等	事業のねらい
1	11月16日	<p>レストランにて午前午後とも着席形式で行った。フリードリック。</p> <p>主催者挨拶 ⇒1:1トークタイム（全員）⇒フリートーク⇒</p> <p>①ランチャタイム、 ②ティータイム⇒フリートーク⇒カード記入⇒フリートーク（集計）⇒カッブル発表⇒景品授与⇒挨拶後解散</p> <p>参加人数 37人 自己負担金 男性 午前の部 3,000円 午後の部 4,500円 女性 午前の部 1,000円 午後の部 1,500円</p>	<p>出逢いを創出することで、独身者を元気にする。結婚して白井に住んでもらいたい。</p>

事業活動

事業名	トールペイント教室		
対象	市内在住在勤者一般		
参加人数	21人		
事業の課題と目標	<p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・木工講座が少ない。 ・暮らしの中にあつたら素敵と思えるものを作る機会がない。 <p>目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アクリル絵の具を使って白木のコースター・ウェルカムボードに絵を描く。 ・図案を用い、素敵な作品を作る。 		
期 間	平成31年4月17日、令和2年1月23日	回数	2回
場 所	工芸室		
事業参加者等への配慮等	<p>・初心者を対象とした講座の為、初めての方でも作成できる教材を講師と相談しながら設定した。</p> <p>・トールペイントについて学びを深めてもらう為、疑問点や問題点を質問できる環境にした。</p>		
事業の成果（課題や目標に対して）	<p>・講師は、参加者の作業スピードに合わせて進行度別にグループを分け、工程ごとにお手本を見せながら説明を行っていた。また、1人1人の得手不得手を確認し、個々に丁寧な指導を行っていた。</p> <p>・参加者は講師からのアドバイスを受け、何度も練習を行い本番に挑むなど積極的な姿が見られた。</p> <p>・参加者同士、絵の具の色の相談や上手く描けたところを褒めるなど互いに高め合い、和気あいあいと楽しく進んでいた。</p> <p>・素敵なコースターが2枚も作ることができたと皆さん満足されていた。</p> <p>1つはプレゼントにしますと笑顔で話された方もいた。</p> <p>・作業する中でトールペイント技法が難しいとの声が上がったが、講師からのアドバイスを受け、何度も練習行い本番に挑むなど積極的な姿が見られた。参加者同士、描き方の相談や上手く描けたところを褒めるなど互いに高め合い、和気あいあいと進んでいた。</p> <p>・次回もぜひ参加したいとの声が多く寄せられた。</p>		
備 考			

事業報告

No	月 日	事業内容・方法等	事業のねらい
1	4月～2月	全11回 コーヒー・日本茶・紅茶・手作り菓 子類 参加人数 442人 自己負担金 50円	癒しの場を地域の方に提供 する。

事業活動

事業名	新緑の公園散策と写真撮影会 (全2回)		
対 象	市内在住在勤者一般		
参加人数	1人		
事業の課題と目標	課題 ・新緑の公園を散策、デジカメを使用して屋外で写真を撮ることが少ない。 目標 ・身近な自然への関心、理解を深めながら、写真撮影を楽しむ		
期 間	令和元年5月24日・31日	回数	2回
場 所	①北総花の丘公園 ②会議室2		
事業参加者等への配慮等	・参加してくださった方が写真を撮り慣れている方だったので、撮影中は、特にこちらで援助することはなかった。 ・とても暑い日だったので、熱中症予防に、こまめに水分補給するようお願いした。 ・花の丘公園事務所とは何度となく連絡を取り合い、現地にて被写体(花)の確認も行って準備した。		
事業の成果(課題や目標に対して)	・参加者の集まりが悪かったので、職員の研修も兼ねての実施となった。 ・SNSやブログ等、仕事で画像(写真)を使用することが多くなってきている為、今回習った、写真の加工方法を役立てられればと思う。		
備 考			

事業報告

No	月 日	事業内容・方法等	事業のねらい
1	5月24日 31日	①北総花の丘公園を散策しながら、 個々に写真撮影を楽しんだ。 ②撮影会で写した写真をプロジェク ターで鑑賞し、講師にそれぞれアド バイスしてもらった。 参加人数 ①1人 ②0人 自己負担金 0円	事業のねらい 趣味や生きがいづくりの向 上を図る。 心豊かで穏やかな生活を送 るきっかけを作る。

事業活動

事業名	☆やりたい事を見つけよう☆初めての川柳(全2回)		
対 象	市内在住在勤者一般		
参加人数	4人		
事業の課題と目標 課題	<ul style="list-style-type: none"> ・普段川柳を教わることがない。 		
目標	<ul style="list-style-type: none"> ・人情を読み、人や社会を風刺する口語の詩を学ぶ。 		
期 間	令和元年9月4日・11日	回数	2回
場 所	会議室2		
事業参加者等への配慮等	<ul style="list-style-type: none"> ・講師の主宰しているほのぼの川柳会のメンバーがアシスタントをしてくださったので、特にこちらで援助することはなかった。 ・皆の句を発表する用紙を当日作り、喜んで頂けたようだ。 		
事業の成果（課題や目標に対して）	<ul style="list-style-type: none"> ・2回の講座だとひとつのお題しか作句が出来ないので、こういった講座は、年に何回かのスパンで行うと良いかも知れない。 ・途中、自由句なども挟みながら、たくさん作って行くうちに成果があらわれそうだと 		
備 考			

事業報告

No	月 日	事業内容・方法等	事業のねらい
1	9月4日 11日	①初回は、川柳の歴史・川柳の概念・川柳の特徴を学んだ。 次回までに、自作の川柳2作を作ってくる宿題が出た(課題は好み) ②2回目は、作成した川柳を無記名で集め、それぞれ、どの句が良かったか投票し、また講師にそれぞれアドバイスしてもらった。 参加人数 4人 自己負担金 0円	趣味や生きがいづくりの向上を図る。 心豊かで穏やかな生活を送るきっかけを作る。

事業活動

事業名	はじめての「ベジブーケ」		
対象	市内在住在勤者一般		
参加人数	10人		
事業の課題と目標	<p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ベジブーケ」と言われてもわからない人は多い。 ・市民の方に「野菜×東ねる×ベジブーケ」を知ってもらおう。 		
期 間	令和元年10月3日	回数	1回
場 所	工芸室		
事業参加者等への配慮等	<p>・講師のカルチャースタールが忙しいので、普段は講座を受けないが、職員が交渉して来ていただいた。</p> <p>・上手く出来ずに困っている方をアシスタントに知らせ、補助に入ってもらった。</p> <p>・途中、参加者へ材料配布等の手伝いをした。</p>		
事業の成果(課題や目標に対して)	<p>・講師はベジブーケの作り方だけでなく、ブーケで使う一つ一つの野菜の説明から料理方法まで話してくれた。</p> <p>・講師は見本のブーケを見せ、新たにブーケを作りながら説明をし、アシスタント2人と一緒に参加者一人一人の話を聞き、褒め、丁寧にアドバイスしていた。</p> <p>・参加者は悪戦苦闘しながらも、楽しそうにブーケを作っていた。各自、それぞれの作品に満足されていた。</p>		
備 考			

事業報告

No	月 日	事業内容・方法等	事業のねらい
1	10月3日	講師とアシスタントの方に教わりながら、野菜・花の下ごしらえをして束ねる。 参加人数 10人 自己負担金 990円	野菜でブーケが作れることを知ってもらい、趣味や生きがいづくりの向上を図る。 心豊かで穏やかな生活を送るきっかけを作る。

事業活動

事業名	夜の座禅体験会 in 佛法寺		
対象	市内在住在勤者一般		
参加人数	17人		
事業の課題と目標	事業の課題と目標 ・日常生活の中に「禅」を取り入れる。 ・心静かに自分を調えることでストレスの軽減につなげる。		
期 間	令和元年11月30日	回数	1回
場 所	天台宗 佛法寺		
事業参加者等への配慮等	・始めは、皆さん遠慮して、隅の方へ座ろうとするので、本堂に近い座蒲(座禅用の丸い座布団)の方へ座るようにお願いした。 ・座蒲の使い方に関しては、住職の奥様が指導してくださった。 ・事前に座布団などを確認した。		
事業の成果(課題や目標に対して)	・終了後に住職から「座禅とは、何かを得るものではなく、煩惱を捨て去るものだ」とお話があり皆さん納得しておられた。 ・連続講座として開催して欲しいという声が多数寄せられた。		
備 考			

事業報告

No	月 日	事業内容・方法等	事業のねらい
1	11月30日	軽くストレッチをしたのち、住職に座禅の作法(足の組み方(結跏趺坐や半跏趺坐) 手の組み方、呼吸法、視線の位置、警策の受け方等)を教えて頂き、30分程座禅(止観)を行った。 参加人数 17人 自己負担金 0円	日常生活の中に「禅」を取り入れ、心静かに自分を調えることでストレスの軽減につなげる。 心豊かで穏やかな生活を送るきっかけを作る。

事業活動

事業名	野山のついでカゴを編もう!		
対象	市内在住在勤者一般		
参加人数	13人		
事業の課題と目標	課題 ・身近な野山や里山にあるカズラを使いカゴを編めることを知らない。 目標 ・自然を取り入れた暮らしの技を学ぶ。		
期 間	令和2年2月19日	回数	1回
場 所	多目的ホール		
事業参加者等への配慮等	・参加人数が13人と多かったため、講師1人では、回し切れないところもあったので、スタッフ3人でカバーした。 ・作業に遅れる人が出ないように気を付けた。		
事業の成果(課題や目標に対して)	・白井には、まだまだ多くの自然が残っており、里山や庭先で蔓性の植物を目にする機会が多く、「身近にある材料で何か出来ないか?」と参加して下さった方が多くいた。 ・「何を入れようか?」とすでに用途やデザインまで考えてきていた方もいて、それぞれ個性的な作品が出来上がったと思う。		
備 考			

事業報告

No	月 日	事業内容・方法等	事業のねらい
1	2月19日	<p>あおつづらふじ(青葛藤)のつるを 使って、籠を編んだ。</p> <p>参加人数 13人 自己負担金 1,500円</p>	<p>趣味や生きがいづくりの向上を図る。 自然を取り入れた暮らしの技を学ぶ。 心豊かで穏やかな生活を送るきっかけを作る。</p>